

凡 例

1. 本書は、東京都についての統計を集録したもので、統計表の表名には、特に、他と区別する必要のないかぎり、東京都という名称を省いてある。
2. 本書は、昭和 28 年、または昭和 28 年度の統計を主として集録し、他の年、または他の年度の統計は、原則として比較対照に資するため掲げてある。
3. 統計表は、特に頭注等にことわりのないかぎり、何年とあるのは暦年間（1 月から 12 月まで）、何年度とあるのは会計年度間（4 月から翌年 3 月まで）の事実を示し、何年末、何月末等、あるいは何年何月何日とあるのは、その期日の現在事実を示す。
4. 統計表は第 1 編（一般統計）、第 2 編（生産動態統計、繊維流通統計）に分け、編ごとにそれぞれ表名に一連番号を附し、また、各ページの左上か、右上に目次の分類名を記して索引に便ならしめた。
5. 統計表の一般的説明は頭注とし、表中説明を要する個々の事項は原則として脚注にした。

資料出所は脚注の一部として各表ごとに掲げてある。

6. 統計表中の符号の用法は、次のとおりである。

「—」……………皆無、または該当数字なし

「…」……………不 詳

「0」……………0.5 未満

なお、「0.0」のような場合は、上に準じて 0.05 未満を示す。

7. 附録として、度量衡換算表および各国通貨の円弗換算率を掲載し、計算その他の利用に供しうるようにしてある。

また、東京都の地図を附して地域範囲を明らかにし、統計表の理解上、いささかなりとも資するように努めた。